

# 日本のPOCO、PNGのX'Poseが若者の権限委譲とスキルの移転に協力しています

X'Pose Media, Events and Marketing (X'POSE) と太平洋共創機構 (POCO) は、さまざまなスキルセットで若者を力強く支援し、トレーニングするために協力しています。

最初のステップでは、コンピュータの修理とメンテナンス、建築、および衣類デザインと製造のトレーニングが行われます。縫製機と指導者は日本から提供され、他のトレーナーはコンピュータの修理とメンテナンスのスキルを伝授します。この協力プロジェクトでは、資格を持つ日本のトレーナーが、国内首都地区から始まる若者たちに対して生涯にわたるスキルトレーニングとエンパワーメントを提供します。

見積もりで約K2百万以上のプロジェクトの成功を受けて、他のセンターやコースが追加されます。このプロジェクトの成功は土地、資金、および関係者との協力といった三つの重要な要素に依存しています（詳細はX'Pose Youth Magazineの1月号をご覧ください）。この雑誌は、パプアニューギニア（PNG）と太平洋の若者たちを刺激し、力を与えるために慎重にキュレーションされたポジティブなコンテンツを掲載しています。

X'Poseは、2021年12月に初めてX'Pose Youth Magazineの創刊号を発行し、2022年10月にポートモレスビーで初めての若手作家ワークショップを開催しました。その後、2023年6月にラエで2回目のワークショップが開催され、50人以上の意欲的な若手作家が参加しました。この2日間のイベントは、ラエの2つのメディアハウスでの見学から始まり、NBC MorobeとThe National Newspaperでのデジタルおよび印刷メディアの現場シナリオに若者参加者を触れさせ、感銘を与え、エンパワーメントを提供しました。



POCOおよびX'Poseの代表者とサポートメンバーが、パプアニューギニアに若者トレーニングセンターを建設するために協力し、現地当局や志を同じくする団体からの期待されるサポートを受けています。写真提供：X'Pose Media。

さらなるワークショップの計画、モト=コイタの若者を対象にしたものを含む、Lady Carol Kiduとの協力によるものや、Tutu Village Resortで新しい図書館の建設に取り組む彼女のプロジェクトなどは、慌ただしく予測できない課題が2023年に発生したため、2024年に延期されました。その一方で、教育プロジェクトを始動させることに焦点を当て、X'Poseブランドの戦略の再構築とリニューアルに取り組んでいます。X'PoseとPOCOは、政府、ビジネス、市民社会からの志を同じくする団体と協力して、PNG全体および地域全体の若者に利益をもたらすプロジェクトを実施することに合意しました。その中には、国内首都地区に職業訓練セ

ンターを建設することが含まれており、これはパプアニューギニア全体や太平洋の一部において模倣される予定のパイロットプロジェクトです。X'POSEはPNGIPAに登録されており、POCOは日本で登録された非営利団体（NPO）です。

【XPOSE Youth Magazine】第7号（07）をもっと読むには、近日中に発売されますので楽しみに。

X'Poseは、パプアニューギニアで2年間運営されている若者向けのプラットフォームです。POCOは、日本の非営利団体（NPO）であり、日本と太平洋地域との持続可能な開発と貿易に焦点を当てています。



# POCO JapanとX'Pose PNGが協力して職業訓練センターのクラウドファンディングを行います。



POCOのディレクター（PNG）、ノブチカ・イハラ氏、および会長、元駐ソロモン日本大使の高濱清氏が、X'Poseとの協議中に、国内首都地区にX'Pose職業訓練センターのクラウドファンディングを支援する様子です。写真内側：施設のアーティストのイメージ。写真提供：X'Pose。

## NPO POCOとは何

非営利団体で、非政府組織（NGO）に類似しています。POCOは太平洋共創機構（Pacific Ocean Co-Creation Organisation）の略称です。日本は海洋国家であり、世界の三大洋の一つである太平洋の周縁に位置しています。

日本は長い年月にわたり、先行者たちの努力によってこれらの島国との友好な関係を深め、太平洋から大きな恩恵を受けてきました。最近の研究では、太平洋が石油、天然ガス、金、銅、希少な資源、漁業などの資源で豊かであることが示されています。POCOは志を同じくする人々や団体と協力し、太平洋を自由で開かれた状態に保ちながら、太平洋諸島を発展させるために組織の目標を実現しようとしています。

## POCO ビジョンとミッション..

初めに、自由で開かれた太平洋の保護、太平洋諸島国の発展に貢献する活動やプロジェクトを深化させ、日本との相互理解と連帯を固めることを目的として設立されました。POCOのウェブサイトによれば、この非営利団体を設立する目的の一つは、太平洋を地球上の最後のフロンティアとして見ている多くの意欲的な人々や団体との理解と協力を得て、太平洋がその人々と世界のために自由で開かれた状態を維持し続け、特に太平洋の住民にとって持続可能で公平な発展を実現することです。

## 刺激的な協力

太平洋はおおよそ155,555平方キロメートルの広がりを持っています。アジア、オーストラリア、南極、北アメリカ、南アメリカという大陸に囲まれています。太平洋は世界最大の海洋であり、大西洋とインド洋と共に三大洋の一つです。その14の島国は多様な民族グループから構成され、独自の文化と伝統を守りながら、独自の課題に直面して小さなコミュニティを形成しています。世界の急速な成長とグローバル化の大部分が太平洋に大きな変化をもたらしていません。POCOは貧困、教育、開発、および基本的な政府サービスへのアクセスを含むこれらの独自の課題に対処するため、政府や様々な組織と協力しようとしています。



PICTORIAL PICTORIAL PICTORIAL PICTORIAL PICTORIAL PICTORIAL PICTORIAL PICTORIAL PICTORIAL PICTORIAL

ご協力いただいたすべてのパートナー、若者の支援者、チャンピオン、メンバー、そしてフォロワーの皆様へ、継続的なサポートに感謝申し上げます。皆様なしではここまで来ることはできませんでした。素晴らしいお祝いの季節をお過ごしいただき、豊かな2024年をお迎えいただくことを心よりお祈り申し上げます。そして、2024年も一層深い協力ができることを楽しみにしています。

### 創設者 | CEO

ジョンソン・コニー

E: jkcomeng@gmail.com

### 創設者 | 編集長

ジェyson・カウト

E: JasonKaut57@gmail.com

### 編集協力

ジェyson・パイソイ  
ラッセル・ガッドリリアン・トゥノ  
コンロドニー・シンバゴマルチ  
メディアおよびグラフィックス  
エノシュ・カロ、ピーター・ノガ

マーティン・サラングアウ、バリー・ポール RB グラフィックス、ジェフ・タリ・カウト、ポイント・メディア・プロダクション

### マーケティング

ジェーン・パトリシア・トーマス、マキシーン・ハッカ

### 郵送先住所

PO Box 2962, Boroko, National Capital District, 122

### 携帯電話

(+675) 7176 8999 | 7878 6374

(+675) 7651 6452 | 7802 5426

### Eメール:

infor.exposeyouthmag@gmail.com

### 免責事項:

X'pose Youth Digestは、若者により良い選択とより良い未来を促し、力づけ、影響を与える情報を提供します。私たちは最善を尽くしています。提供された情報は正確で事実に基づいており、故意に誤解を招くか、誤った情報や広告を公表するつもりはありません。

提供されたすべての素材は、X'pose Youth DigestまたはX'Pose Youth Magazineの見解を必ずしも表しているわけではありません。私たちは故意に、どのグループ、実体、人種、信条、信念、または宗教に対しても誤解を招く、差別的なもの、または軽蔑的な情報を公表することはありません。すべての人は平等であり、平等に扱われるべきです。

All stories and pictures by Jase @ X'Pose Media (C)

# SCAJ2023ワールドスペシャルティコーヒーエキスポは、5万人の訪問者を迎えました。

9月19日から22日まで、スペシャルティコーヒープロデューサーとトレーダーがSCAJワールドスペシャルティコーヒーエキスポ2023のために、日本最大のエキスポ会場である東京ビッグサイトに集まりました。これはスペシャルティコーヒーアソシエーションジャパン（SCAJ）が主催する年次エキスポの第21回目でした。5万人以上の人々がエキスポを訪れ、参加しました。

これには以下が含まれています：

- 世界中からの300の展示
- 南アメリカのブラジルからアフリカのナイジェリアまで、30か国が参加
- 5万人以上がゲートを通過
- 主要な輸入業者とコーヒーロースター
- 中規模およびマイクロロースターも参加しました。

東京の太平洋諸島センターは、太平洋コーヒーのプロモーションに参加しました（次のページでのストーリー、XYMで詳細を読む）。

PICは、日本の企業と共にフォーラム諸島諸国での貿易と投資、および観光を促進しています。また、観光と労働の流動性も推進しています。



バヌアツのアン＝シャロン、フィジーのナンシー、パプアニューギニアのジェリーがPICのブースにいます。



POCO Japanのイハラ氏、PICの副ディレクター、バヌアツのナンシー、日本で学んでいる学生のナンシー、およびPICジャパンのトレードオフィサーのモモコは、東京で開催されたSCAJ2023 EXPOのPIC展示会で写真にポーズをとっています。写真はX'Pose MediaのJase氏が撮影。



イハラさんがPNGの教室プロジェクトを紹介する展示を訪れています。

# 太平洋諸島センター：太平洋でのコーヒーと貿易のプロモーション

## PICは何ですか？いつ設立されましたか？

PIC（Pacific Islands Centre）の使命は、太平洋のフォーラム諸島国（FICs）が持続可能な経済開発を達成するために、日本とFICsの間での貿易、投資、観光の促進を支援することです。

### 貿易

- FICsから日本への輸出を促進する
- FICsが日本から効率的なコストで輸入できるように支援する

### 投資

- 日本からFICsへの投資流入を促進する

### 旅行

日本からFICsへの観光客の流れを活性化させる

これらの三大柱（貿易、投資、観光）に基づく活動を活性化するために、PICは広報、ビジネス協力、人的交流、学術交流にも重点を置いています。これらと共に、PICは太平洋諸島国をより密接かつ結束して持続可能な経済開発を促進する手助けをしています。



PNGコーヒーのブランドの一つが、地元の農家と協力して日本でプロモーションされています。

右の写真：太平洋諸島センター（PIC）のトレードオフィサー、八木下桃子さんがSCAJ2023ワールドスペシャルティコーヒーエキスポ中に太平洋諸島センターの展示ブースで訪れた人々と会話をしています。写真提供：X'Pose Media



太平洋諸島センター（PIC）のディレクターであるロイ（リュウソウ）・サイトウ氏が、SCAJ2023ワールドスペシャルティコーヒーエキスポ中に太平洋諸島センターの展示ブースでフィジーのナンシーさんと会話している様子が描かれています。センターの奥には、バヌアツのアン＝シャロンさんがいます。上下：訪問者への対応。写真提供：X'Pose Media



# は、そのCSRプログラムを通じてX'Poseを支援し、100台の携帯電話を寄付しました。

2023年、東京に拠点を置くSS Market Co Limitedは、そのコミュニティーソーシャル・レスポンスイビリティ（CSR）プログラムの一環として、パプアニューギニアの若者向けプラットフォームに対して使用済みのシャープのAndroid携帯電話100台を寄付しました。これらの携帯電話は、X'Pose Youth Magazineに寄付されました。X'Pose Youth Magazineは、日本のNPO POCOと協力して、太平洋地域で持続可能な社会経済の発展を促進するために若者と地方コミュニティを奮起させることを目指しています。X'Poseの創設パートナーであるジェイソン・カウト氏とPOCO ディレクターのイハラ氏は、SS Marketの本社を訪れてこれらの携帯電話を入手しました。X'Poseは、2024年に若者向けの市民活動ライティングと気候変動ライティングコンペティションにいくつかの携帯電話を使用する予定です。その他は、さまざまなコラボレーション、若者、イベント、およびプログラムをサポートするために使用されました。



上記の写真は、寄付された一部の4Gスマートフォンです。



上の写真では、SS MarketのCEO（中央）と製品開発およびマーケティングスタッフがX'PoseのJerryとJasonと一緒にポーズをとっています。

# 信頼関係の三つの基本要素

## X'POSE COMMENTARY

By Nobichika Ihara  
 X'Pose Mentor,  
 Humanitarian Advocate



私は日本におけるパプアニューギニアの名誉領事であることを非常に光栄に思います。過去14年間、何度もパプアニューギニアを訪れ、親しみやすい人々に歓迎され、友人以上の存在として迎え入れていただきました。X'Pose Youth Magazineで自分のコメントを共有するこの機会にも感謝しています。

私は日本で生まれ、21歳でアメリカに移住し、40年以上にわたり金融業界で働いています。この最初の紹介的なコメントでは、人々との信頼関係を築くための私の原則を紹介したいと思います。信頼関係を築く上で重要な三つの側面があります。それは次の通りです。

- 尊重を示すこと
- 感謝の気持ちを示すこと
- 責任を取ること

最初の二つのステップは個人またはグループとして比較的簡単に実行できます。しかし、三つ目の「責任を取る」というステップは発見するのに時間がかかり、継続的に行われ、それが自然体となるか習慣になるまで行われる必要があります。これらの三つのルールが満たされた時に信頼が築かれます。その後で初めて、他の団体や対立相手と協力して共通の目標を達成できるのです。



X'Poseの創設者であるJohnsonとJasonがMr. Iharaさんと一緒にSharp Phonesを展示しています。これらの電話は近くパプアニューギニア全土に配布される予定であり、私たちはソーシャルエンタープライズと若者プログラムをサポートするための収益を生み出すことを目指しています。これらの取り組みは、刺激的で力強く、露出豊かな結果を生むことを志向しています。写真提供：X'Pose Media

あなたは何かを約束したり、誰かを助けることを約束したりすることができます。しかし、その約束を果たすことができないことがあります。または、何かにコミットすることになり、最善かつ真剣な努力をしてそのコミットメントを果たそうとしても、時には達成できないことがあります。その場合、本当に達成できないことを正直に知らせる責任が生じます。責任は目標を達成するだけでなく、状況や状態がコントロールを超える場合にコミットメントを果たせないことを知り、他の方法を見つけるか、適切な人に知らせることも含まれます。これも責任を取る別の方法です。予期せぬことが起こることを常に想定し、予備計画を持つことは重要ですが、もしコミットメントを果たせない場合は友人に知らせることも重要です。それも責任を取り、責任感を持つことです。

Best,  
 Ihara-san

## アジア太平洋地域でのサービス提供

協和船舶株式会社 (Kyowa Shipping Company Ltd) は、アジア太平洋地域および世界を結ぶ主要な船舶会社の一つです。現在、同社は14の太平洋諸島国にサービスを提供しており、地域の船舶サービスへの需要増加に対応するためのさらなる協力に興味を持っています。同社は現在、Laeおよびポートモレスビーの港を訪れています。これは協和船舶株式会社のオーナー兼社長である高松裕満氏のメッセージです。協和は南アメリカからアフリカまで世界中で船舶サービスを提供する貨物船を保有しており、船舶業界で長い歴史があります。

企業の社会的責任の一環として、協和は約10年前にモロベ州のLaeにあるバロップ教員大学に2つの教員寮を資金提供し建設しました。

協和の船舶は複数の貨物室を持ち、底部には車両やその他の重機材が充填され、トップのコンテナ室には傷みやすい商品や急いで市場に届ける必要のある他の壊れやすいアイテムが積まれています。X'Poseは、協和船舶株式会社といくつかのプロジェクトに関する初期の議論を行いました。これには、同社がもはや提供していないいくつかの航路をX'Poseのさまざまな社会起業活動を通じたマーケティング活動と協調して再開する可能性が含まれます。これらはモロベ州と首都圏 (NCD)、工業都市であるLaeと首都のポートモレスビー、そしてガルブ州で実施される予定です。協和船舶株式会社は東京の日比谷ビルの4階にあります。



東京の協和本社で、協和の高松さん、エクスポーズのジェイソン（左）、日本での実習中の若い土木技術者のジェリー。写真提供：岩原さん



高松さんがバロップ教員大学からの感謝のしるしを展示しています。写真提供：岩原さん、POCO PNG-Japan

## Dai-Ichi Coffee Shares Insights on World Coffee Markets

Dai-ichi Coffee is one of the leading major coffee importers and roasters in Japan. It is a leader in the World Specialty Coffee market, importing various specialty coffee brands from around the world, including from rural farmers in Guatemala, South America. X'Pose recently had the opportunity to meet and interview the Chairman of the company Mr Ryosuke Takahashi, whose father established Dai-ichi, right after the end of world war 2. Taking over his father, current chairman, Mr Takahashi-san says the company has a 68-year history in the world coffee market. Revealing some insights, Mr Takahashi said, there are various coffee markets in the world, that includes Commodity Market, the lowest market, Premium Coffee Market and Specialty Coffee Market, that attracts the best returns for farmers. PNG is more a Commodity Trader and thus does not reap the full benefits of high coffee returns for rural farmers. There is also the need to be conscious of free trade and environmental requirements, now a pre-requisite to enter world markets.



Chairman of Dai-ichi Coffee Mr Takahashi-san during an interview with Xpose Youth Magazine at his office in Tokyo recently. Picture by X'Pose Media



Various product displays at the Dai-Ichi Coffee entrance in Tokyo, Japan. Picture X'Pose Media, Japan

## Collaboration to set new tourism sites in PNG



Owner of PNG-Japan office Mr Yamabe with a female staff at their Tokyo office. . Picture by XPose Media

The PNG-Japan tourism firm is looking at establishing new tourism sites in PNG to cater for increasing interest from Japanese tourists.

Tourism is a major revenue earner for many Pacific islands nations, in particularly Fiji and Vanuatu.

However not many Japanese tourists visit PNG.

Well this is set to change come 2024, as Xpose looks at enhancing further collaborations with PNG Japan tourism office, Japanese NPO POCO, and the Tokyo based Pacific Islands Center. All entities promote PNG

Japan relations in tourism, community development and investment in various business opportunities that can enhance the trade and cordinal relations between Japan and Papua New Guinea. X'Pose will help in setting up new tourism sites for Japanese tourists starting in 2024 and will be looking to establish local collaborations with local entities and community groups to make this a reality.

Focus is on prommoting sustainable tourism and community development with opportunities for cultural exchanges and educational opportunities.



## Promoting trade and investment in PNG



Mr Ihara-san in white shirt, with team, having a meeting to discuss opportunities for trade, investment and promoting sister city relations between cities in Tokyo, Japan and Papua New Guinea.

Their discussions inluded coffee, vanilla, trade relations and investment focused on rural communities in PNG. The meeting was held in early October in Mita City, Tokyo, Japan at the PNG-Japan

offices of Mr Ihara-san, who is the honorary trade envoy between Japan and PNG, and has been responsible over the past decades, in promoting trade relations between our two countries.

This includes sponsoring local PNG talents to Japan to get exposure to the high work ethics and work safety culture of Japanese firms. Recently he helped to sponsor a young PNG Civil engineer Jerry Sukatou, from Enga, who is currenty

understudying with a leading Japanese consruction firm Koori Construction. He was there for three months and recently returned to PNG with a wealth of new knowledge, and culture of work and safety, which is paramount for Japanese firms.

Koori constrution was responsible for building PNG's longest bridge, the Markham bridge and recently participated in the rehabilaition of the Yonki dam turbine section

Read more in XYM Issue 7, out Jan



Flags of the 14 nations of the Pacific Islands Forum on display at the Pacific Islands Centre in Tokyo, Japan. Picture XPOSE Media



# PROJECT GENESIS

*A student-led activism by MSU - UPNG*

Earlier this year, the University of Papua New Guinea, Morobe Students Union (UPNG MSU) hosted a fundraising dinner for their Project Genesis, an initiative by the students to support three local health

Students Association.

The workshop allowed students who will be participating in the project to recap, plan and prepare for the projects delivery phase.

Project Genesis was launched earlier



Part of the UPNG MSU Project Genesis Team in Wantoat. Picture UPNG MSU

centers with the donation of medical supplies and equipment.

X'Pose Brand Ambassador Desmond Malus, who also hails from Morobe, represented X'Pose attending the dinner in support of Project Genesis. The dinner was a great success and saw a keynote from Governor General Sir Bob Dadae and a moving speech from PNG's first female neurosurgeon Dr Esther Apuahe, who is also from Morobe.

On November 18, 2023 the UPNG Morobe Students Union ran a workshop in preparation for Project Genesis implementation in partnership with Lae School of Nursing Morobe

this year by the UPNG MSU, as an initiative to give back and help their communities in Morobe with much needed assistance for three identified rural health centers in the province.

The UPNG MSU Project Genesis team thanked all the members, youth volunteers, local and national leaders in the likes of the Morobe Provincial Government/administration, Governor-General Sir Bob "Dadae, local entities like Yowipool Medical Trader and other SMES, teams like the amazing Lae girls netball team Pluvia, individuals and many others, whose donations and support helped in a successful project delivery.

It was an amazing project of selfless volunteerism in a spirit of collaboration.

The UPNG Morobe Student Union Project Genesis team's first visit late November was to Situm where they were met by Sister Benny who received their donations on behalf of the Situm Health Centre, and thanked the team.

The team then visited Wantoat where the OIC of Wantoat Health Centre Amendan Papaip thanked them and expressed much gratitude for their visit and support.

He told the team of the geographical struggles that they faced with transporting the much needed supplies they lacked and took them on a visit of their facilities.

We acknowledge the struggles our people face in rural Morobe communities but we are determined that if we can do our part in helping, so can many other young people who are online reading our updates.

The third trip was a boat ride across to Salamaua to donate to the Salamaua Health Centre.

A local from the area, Salili Seka expressed his gratitude saying they struggled a lot and it was empowering and inspiring to have the students visit them for the first time to provide such community service.

The team thanked all involved for their support and hospitality and is looking forward to more such projects in 2024.

Team X'Pose Commends UPNG MSU and everyone involved in a wonderful project. Happy and safe Holidays.



Corporate dinner in Pom. Picture Supplied

## UPNG-MSU PROJECT GENESIS IN PICTURES



Pictures from Fundraising dinner, workshop, Situm, Wantoat and Salamaua, Pics by UPNG MSU

# Sports an integral part of development



Picture of the Opening Ceremony of the Momase Regional Youth Games in Madang. Picture Supplied by RYG.

**T**he tripartite agreement that created the Regional Youth Games, an initiative of the National Youth Development Authority (NYDA) has surpassed expectations.

The RYGs started with the inaugural games for the Southern Region held last year in Alotau, followed recently by the Momase Regional Youth Games in Madang and then the New Guinea Island RYGs in West New Britain.

An initiative of NYDA, it was created through a tripartite agreement between NYDA, the PNG Sports Federation and the Department of Community Development Youth and Religion, which houses the two government bodies.

The concept has been embraced by districts providing an opportunity for hidden youth talents to be exposed to opportunities through sports. It has been a holistic approach that includes cultural performances before the Games, that sees thousands of youths completing in various sporting codes that includes football, basketball, volleyball, rugby and more.

The Momase Games successfully saw the introduction of an Inclusive Sports program that saw many of our less-abled young athletes participate in the

games for the first time.

The Momase Games was launched by Minister for Youth Religion and Community Development, Hon. Jason Peters, RYG Chairman and NYDA Director General, Mr. Joe Itaki with his two deputies Mr. Robi Duri and Ms. Dorcus Mileng, RYG Vice Chairman and Executive Director of PNGSF, Mr. Albert Veratau, RYG Host Chairman and Madang Mayor, Mr. Peter Yalsi, and Chief Censor, Jim Abani.

The Inaugural Momase RY Games opening ceremony at Laiwaden Oval on Monday 25th of September saw various cultural exhibitions from respective districts. Each group displayed their unique dances that included performances from Bulolo district, East and West Sepik, Riwo in the North Coast and Malamal primary school students.

The Momase Games were held from September 26 – October 30 at the Laiwodon Oval in Madang.

Meanwhile the Madang Governor, Ramsey Pariwa when closing the Momase Regional Youth Games, said from next year and onwards, a budget will be set aside for sports in all districts. This comes as a pathway for change in Madang for youths to embark on.

In early October following the end of the Momase RYGs, the Games Council Chairman Joe Itaki donated sports equipment to local Sports Association Executives for their local competitions after successfully staging the Inaugural Momase RYGs. Sports equipment were part of the Games sports competition programs in Soccer, Basketball, Volleyball and Touch Footy.

The PNG Government has also approved and allocated K1 million to financially support National Federations. This funding will allow National Federations to employ full-time administrators to oversee sports in 2024.

X'Pose would like to Sincerely Thank You, For Your Support, Guidance, Patience, and for the Collaborations in 2023 and the many opportunities that we can pursue further, together.

We look forward to greater collaborations in 2024.

*We Wish You All A Belated XMAS, Safe holidays and a Successful 2024...*